

令和7年度 那須地区小学校野球大会要項

- 1 期 日 7月12日(土)・13日(日)・19日(土)
※予備日 20日(日)
- 2 会 場 三和住宅にしなすのスポーツプラザ(にしなすの運動公園)
- 3 主 催 那須地区学校体育連盟
- 4 後 援 那須地区市町教育委員会
- 5 協 力 大田原市野球連盟・那須塩原市野球連盟・那須町野球連盟
- 6 参 加 校 各市町で代表権を得た8チーム
○大田原市・・・3校
○那須塩原・・・4校
○那 須・・・1校
※①代表権は、各市町で行われる野球連盟主催の大会(栃木県学童軟式野球大会支部予選)をもとに、他の大会と重複しないチームを選出する。
②各市町の代表校数の配分については、予選大会の参加チームに応じて、同配分になるように決定する。
- 7 試合方法
 - (1)2025年度公認野球規則並びに(財)全日本軟式野球連盟競技者必携「学童野球に関する事項」を準用する。
 - (2)試合時間は90分とし、下記のように適用する。
例1:1-0で後攻のチームが勝っていて、後攻のチームが攻撃中に90分に達したら、その時の打者をもって終了となる。
例2:1-0で後攻のチームが勝っていて、負けている先攻のチームが攻撃中に90分に達した場合は、三死まで行う。逆転した場合は、後攻のチームの攻撃に入る。
 - (3)試合は6回戦とし、同点の場合は、無死1、2塁の特別延長戦を1回行い、勝敗が決しない場合は抽選とする。但し、決勝戦に限り2回行う。
※特別延長戦…継続打順とし、前回の最終打者を1塁に、前々打者を2塁走者とし、無死1、2塁の状態にて開始とする。
 - (4)コールドゲームは、降雨・その他による場合は3回終了以降、また、得点差の場合は、3回以降10点差、5回以降7点差以上は、コールドゲームとする。(いずれも均等回とする)
 - (5)投球制限は70球とし、70球に達した打者まで投球することができる。(4年生以下は60球)

- (6)ベンチ内は、監督1名・コーチ2名・スコアラー1名の4名以内とし、選手25名以内とする。また、熱中症対策として世話役（女性）を2名入れる。（県連盟指定のベストがあればベストを着る）世話役は応援や指示はできない。
- (7)第1試合8：00、第2試合10：00
*第2試合の開始時刻は目安。第1試合終了後、20分を目安とする。早まることも遅くなることある。
*上記の時間は予定であり、試合の進行や天候によっては早まることもある。
- (8)第2試合のチームは、8：00までに試合会場に来ていること。攻守の決定を3回終了時までに行うため。
- (9)試合開始前のアップ等の練習の際は、第1試合のチームが優先して使用できるように配慮する。各チームで譲り合って使用すること。フリーバッティングは連盟大会と同様に行わない。なお、グラウンドを使ったチームは整備まで必ず行うこと。
*練習方法や球場の解錠等は、参加チームに知らせる。

8 表彰等

(1)開会式

行わない。

(2)表彰式

①時間と場所・・・A球場にて、決勝戦終了後、準備ができ次第

②参加者・・・・・・決勝に残った2チームの選手、監督、事務局役員等。3位チームの表彰は、準決勝戦終了後、A球場バックネット裏で監督と代表選手1名による表彰を行う。

(3)表彰

○優勝・・・優勝旗、団体賞状、個人賞状、メダル（監督と代表選手3名）

○準優勝・・・準優勝トロフィー、団体賞状、個人賞状（監督と代表選手2名）

○3位・・・団体賞状、個人賞状（監督と代表選手1名）

9 審判員

大田原・那須塩原・那須各市町野球連盟の審判員（一部、小学校野球専門部員となることもある）

10 代表者会議

- ・代表者会議は行わない。
- ・代理抽選を7月9日に行い、当日中に各チームに組み合わせ表、要項を送付します。
- ・組み合わせは、同一市町村どうしが1回戦で当たらない組み合わせとします。

大会申し合わせ事項

- 1 チームは、7時00分までに集合し、受付を済ませること。チーム全員が揃っていること。受付は代表者（引率者・監督・保護者会長等）1名が本部で行う。

※2試合目のチームの受付は8時00分まで

- 2 自チームが試合の際には、投球数のカウントを1名出し、自チームの投手の投球数をカウントする。

- 3 試合開始予定時刻

（第1日目）1回戦 第1試合8：00

第2試合（準備でき次第・10：00を目安）

（第2日目）準決勝 8：00 準決勝第2試合 10：00

（第3日目）決勝戦 8：00

※上記時間は目安です。天候や当日の試合状況により、試合時間は前後します。その旨をチーム関係者に必ずお伝え願います。（特に応援の方々）

- 4 第1試合のチームは試合開始30分前に攻守を決める。本部に監督と主将が打順表（連盟大会用の5枚綴りもの）、ボール2個を持参し、ユニフォームを着用し背番号が見えるようにして来る。2試合目のチームは、1試合目の3回終了時までに攻守を決めるので、すぐに提出できるように準備しておくこと。

- 5 次の試合の投手が投球練習をする場合は、打順表を提出し、攻守が決まった後に先発ピッチャーのみ、審判員（各球場の本部）の許可を得てから行うことができる。

- 6 できるだけ6回戦を行いたい。そのために、スパイクの靴紐のチェック、攻守交代の迅速化、代わりキャッチャーの用意など、ベンチ内の大人が積極的に働きかけて子供を動かすこと。

- 7 審判員が出てくる前に、メンバーの発表、投球練習、あいさつ等は済ませておくこと。

- 8 試合終了後は、両チームでグラウンド整備をすること。

- 9 2回終了時と4回終了時に5分間のクーリングタイムを設ける。この間は、選手の飲水、休息の時間とし、全員がベンチに入る。キャッチボールや素振り等はしない。

- 10 守備時間が長くなってしまった場合は、選手の健康のため、審判員の判断により飲水タイムを設ける。時間は審判員の判断とする。（試合時間には含まない）

- 11 審判員、選手、指導者等に対して、野次や罵声を浴びせるようなパワハラ的叱責は厳に慎むこと。

- 12 実施判断

雨天等による実施判断は、午前6時00分に行います。中止や試合時間の繰り下げなど判断が悩ましい場合のみ、役員から参加申込書にあるチームの引率者に連絡をしますので、いつでも連絡がつく状態にしておいてください。連絡がない場合は、予定通り実施すると理解してください。